

平成18年3月期 決算説明資料

目 次

- 1 業績の概要
- 2 業績の詳細
- 3 市場別の業績概要
- 4 平成19年3月期 業績予想
- 5 グローリー商事との合併に関する情報他



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動などのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。



1. 平成18年3月期 業績の概要

Human Solution
もっと人を輝かせる技術へ

1 - 1) 業績概要 前年度比較

売上高 新紙幣特需の反動による需要減が大きく影響し、前年同期から大きく減少。

利益 売上減少に伴う売上原価率の悪化などにより、大きく減少。

(百万円)	平成17年3月期 (2005年3月期)	平成18年3月期 (2006年3月期)	前年度比	平成18年3月期予想 (平成18年5月10日修正)
売上高	188,881	141,231	25.2%	141,000
営業利益	32,554	5,453	83.2%	6,000
経常利益	32,267	6,132	81.0%	6,100
当期純利益	19,306	740	96.2%	700

【H17年3月期との比較】

・売上原価 17.6%

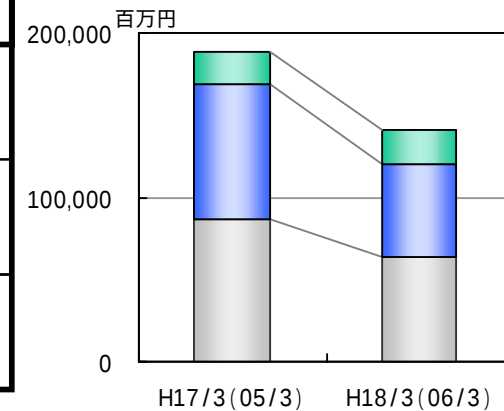
・販売費及び一般管理費 0.9%

2 - 1) セグメント別・市場別売上高

(百万円)

セグメント別	平成17年3月期 (2005年3月期)	平成18年3月期 (2006年3月期)	前年度比
貨幣処理機 及び貨幣端末機	87,108	63,567	27.0%
自動販売機 及び自動サービス機器	81,153	57,052	29.7%
その他の商品 及び製品	20,619	20,610	0.04%

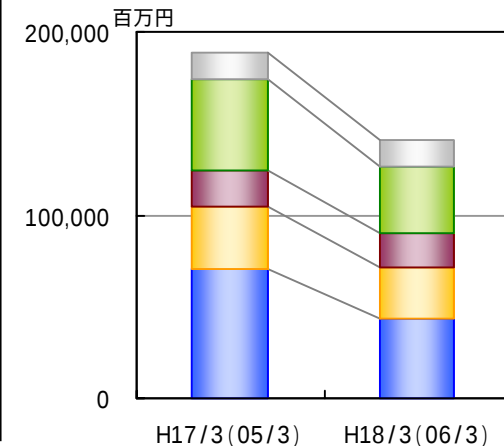
全セグメント



(百万円)

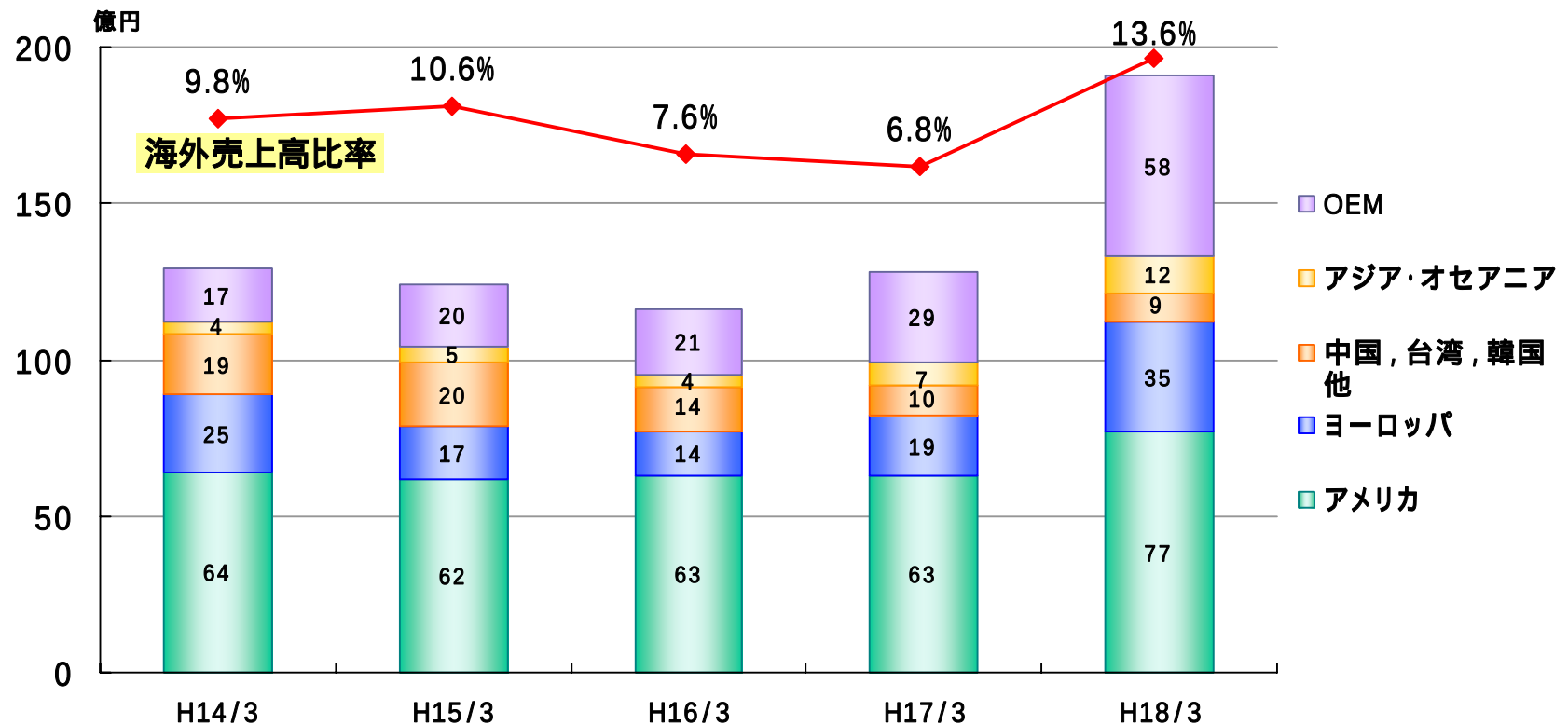
市 場	平成17年3月期 (2005年3月期)	平成18年3月期 (2006年3月期)	前年度比
金融機関	70,620	43,746	38.1%
流通・交通	34,087	27,818	18.4%
自動販売機	19,825	18,730	5.5%
遊 技	49,438	35,986	27.2%
その他	14,911	14,951	+ 0.2%

全市場





2 - 2) 海外売上高



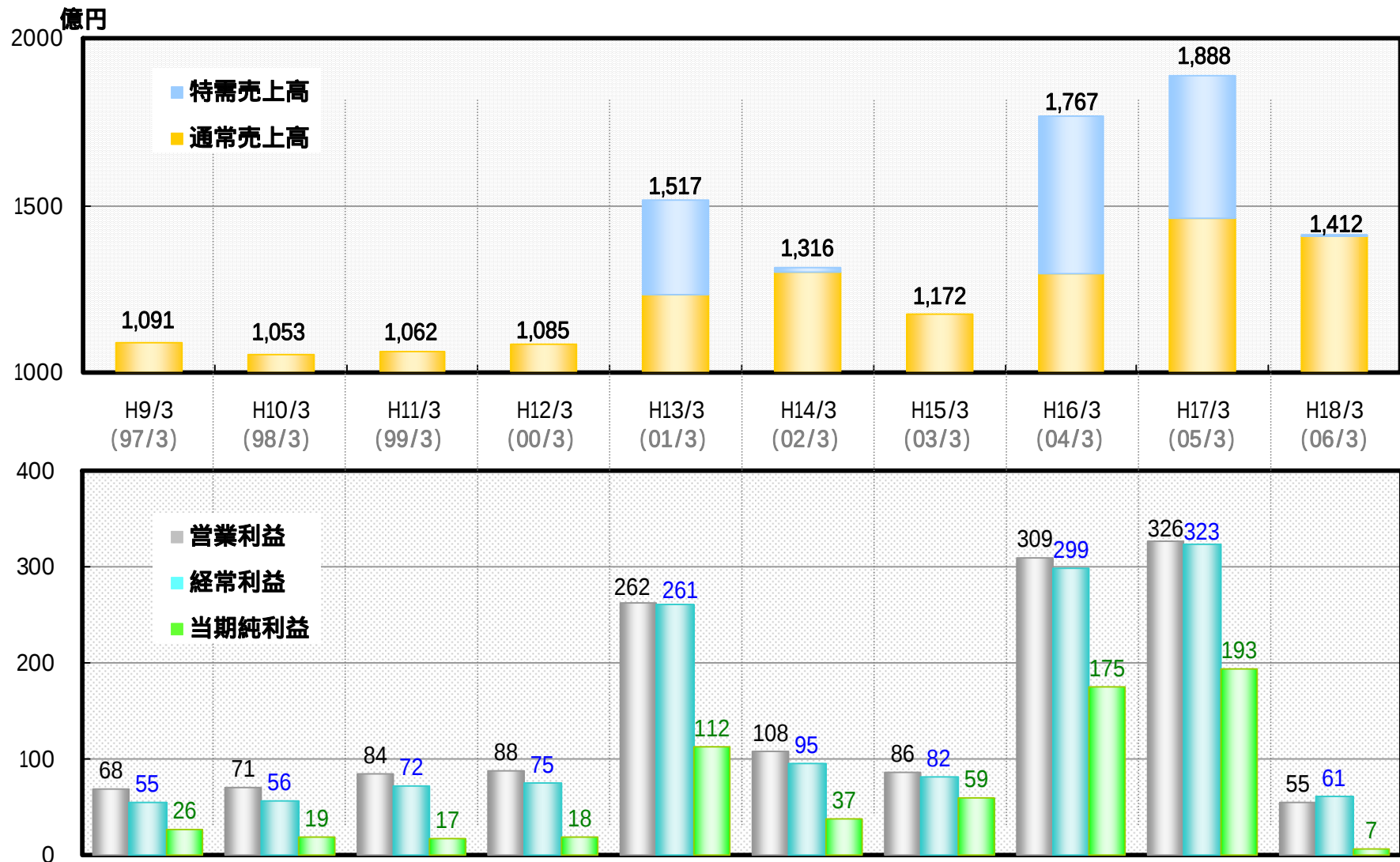
	H 1 4 / 3 (0 2 / 3)	H 1 5 / 3 (0 3 / 3)	H 1 6 / 3 (0 4 / 3)	H 1 7 / 3 (0 5 / 3)	H 1 8 / 3 (0 6 / 3)
海外事業売上高	1 2 9 億円	1 2 4 億円	1 1 6 億円	1 2 8 億円	1 9 1 億円
海外事業売上高 比率	9 . 8 %	1 0 . 6 %	6 . 6 %	6 . 8 %	1 3 . 6 %
連結 売上高	1,3 1 6 億円	1,1 7 3 億円	1,7 6 8 億円	1,8 8 8 億円	1,4 1 2 億円



3. 市場別の業績概要

Human Solution
もっと人を輝かせる技術へ

3 - 1) 業績推移



3 - 2) 金融機関市場

● 新紙幣特需の反動による需要減

金融市場では、一昨年から昨年までの2年間続いた新紙幣特需の反動により、大幅に需要が減少。

【前年度比】38.1%減(新紙幣発行関連含む)

25.6%減(新紙幣発行関連除く)

主力製品のオープン出納システム「WAVEシリーズ」
窓口用現金入出金機「RBシリーズ」、ATM用硬貨
ユニットの販売が低調。

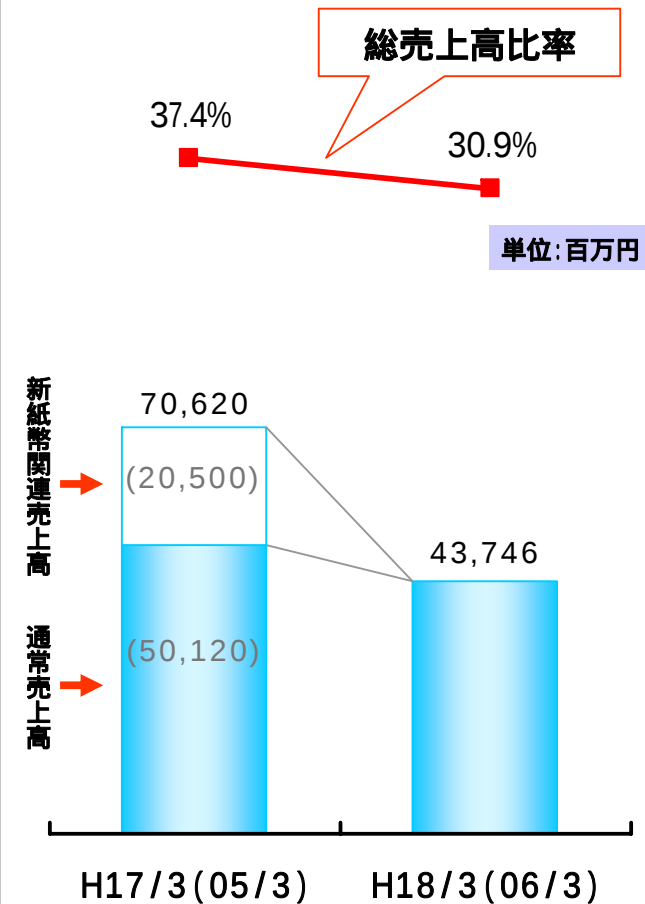


オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用現金入出金機
RBシリーズ

金融機関市場 売上高



3 - 3) 海外市場

● 欧州でシステム製品の需要が拡大

海外市場では、欧州でのユーロ通貨の偽札対応を含めた機械化ニーズが高まり、システム製品の需要が拡大。

【前年度比】49.5%増

窓口用紙幣入出金機「RBUシリーズ」「RZシリーズ」の販売が拡大。そのほか、OEM商品であるATM用紙幣入金ユニット「UDシリーズ」の販売も増加。



紙幣入出金機
RBUシリーズ



紙幣入出金機
RZシリーズ



ATM用紙幣入金ユニット
UDシリーズ

海外市場の売上高は、金融市場に含まれています。

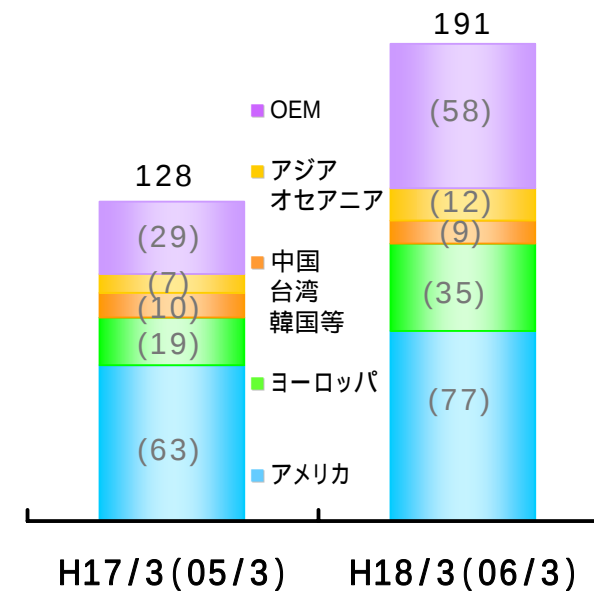
海外市場 売上高

総売上高比率

13.6%

6.8%

単位: 億円



3 - 4) 流通交通市場

● 自動つり銭機の需要が拡大

流通市場では、フロント関連製品の需要は拡大したが新紙幣特需の反動により市場全体の需要は低調。

【前年度比】18.4%減(新紙幣発行関連含む)

8.7%増(新紙幣発行関連除く)

自動つり銭機の販売がラインナップの拡充により大幅に増加。一方、警備保障会社向け売上入金機「DSSシリーズ」やスーパー量販店向け小型入金機「DSシリーズ」は、新紙幣特需の反動により減少。



自動つり銭機
RT・RADシリーズ



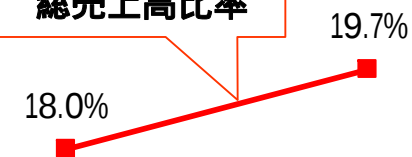
売上金入金機
DSSシリーズ



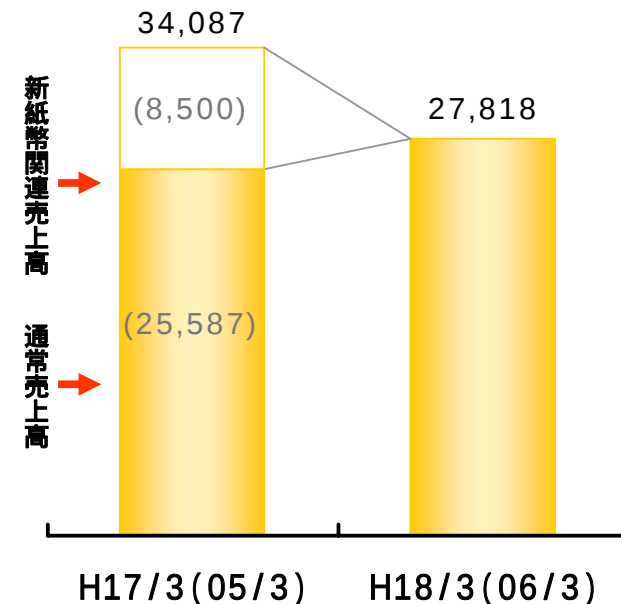
小型入金機
DSシリーズ

流通市場 売上高

総売上高比率



単位: 百万円



3 - 5) 自動販売機市場

● たばこ販売機の買い替え需要が拡大

自動販売機市場では、たばこ販売機の市場では飽和状態であるにもかかわらず、買い替え需要と販売戦略が功を奏し、販売が増加。

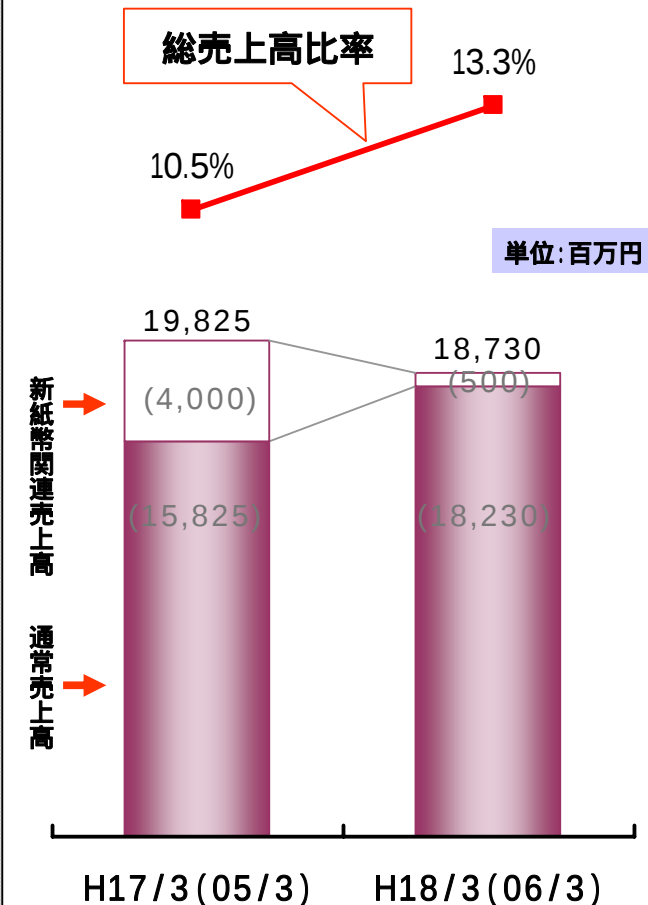
【前年度比】 5.5%減 (新紙幣発行関連含む)

15.2%増 (新紙幣発行関連除く)



たばこ販売機
TNRシリーズ

自動販売機市場 売上高



3 - 6) 遊技市場

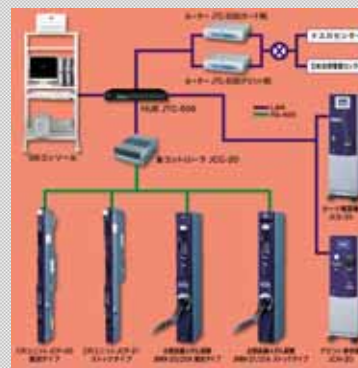
● 新紙幣特需の反動による需要減

遊技市場では、新製品のカードシステムの販売は拡大したが、業界全体の投資が先送り傾向であることに加え、新紙幣特需の反動により需要が減少。

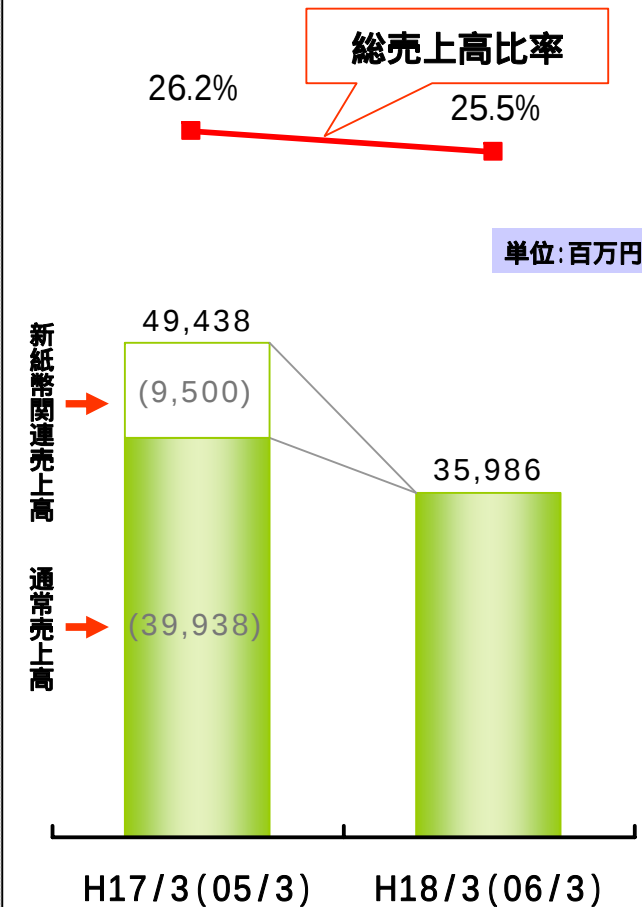
【前年度比】27.2%減 (新紙幣発行関連含む)

9.9%減 (新紙幣発行関連除く)

高額紙幣対応ICカードシステム「ナスカG7、G8」の販売が順調に推移。



遊技市場 売上高



3 - 7) その他の市場

● 病院市場関連製品が堅調

その他の市場では、病院関連製品が好調に推移。

【前年度比】15.1%増

病院向け診療費支払機「FKシリーズ」の販売が増加。

40病院、約120台受注。



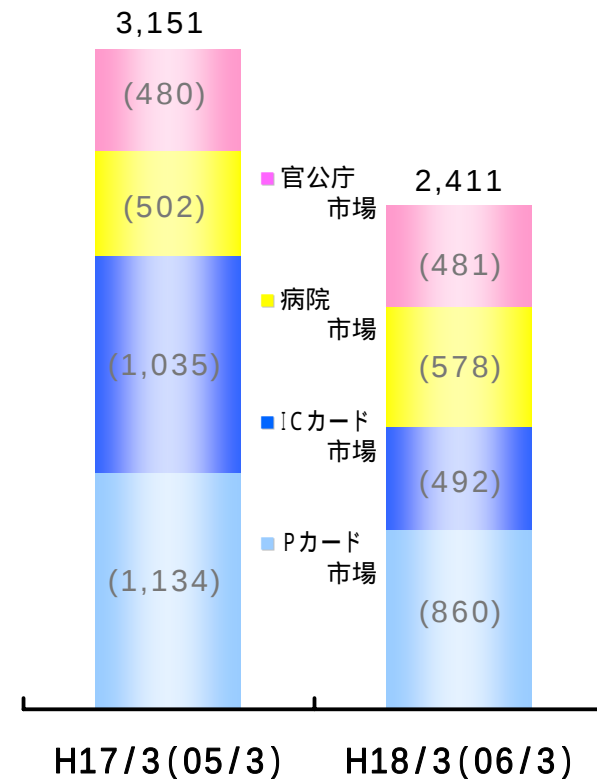
診療費支払機
FKシリーズ

「その他の市場」とは

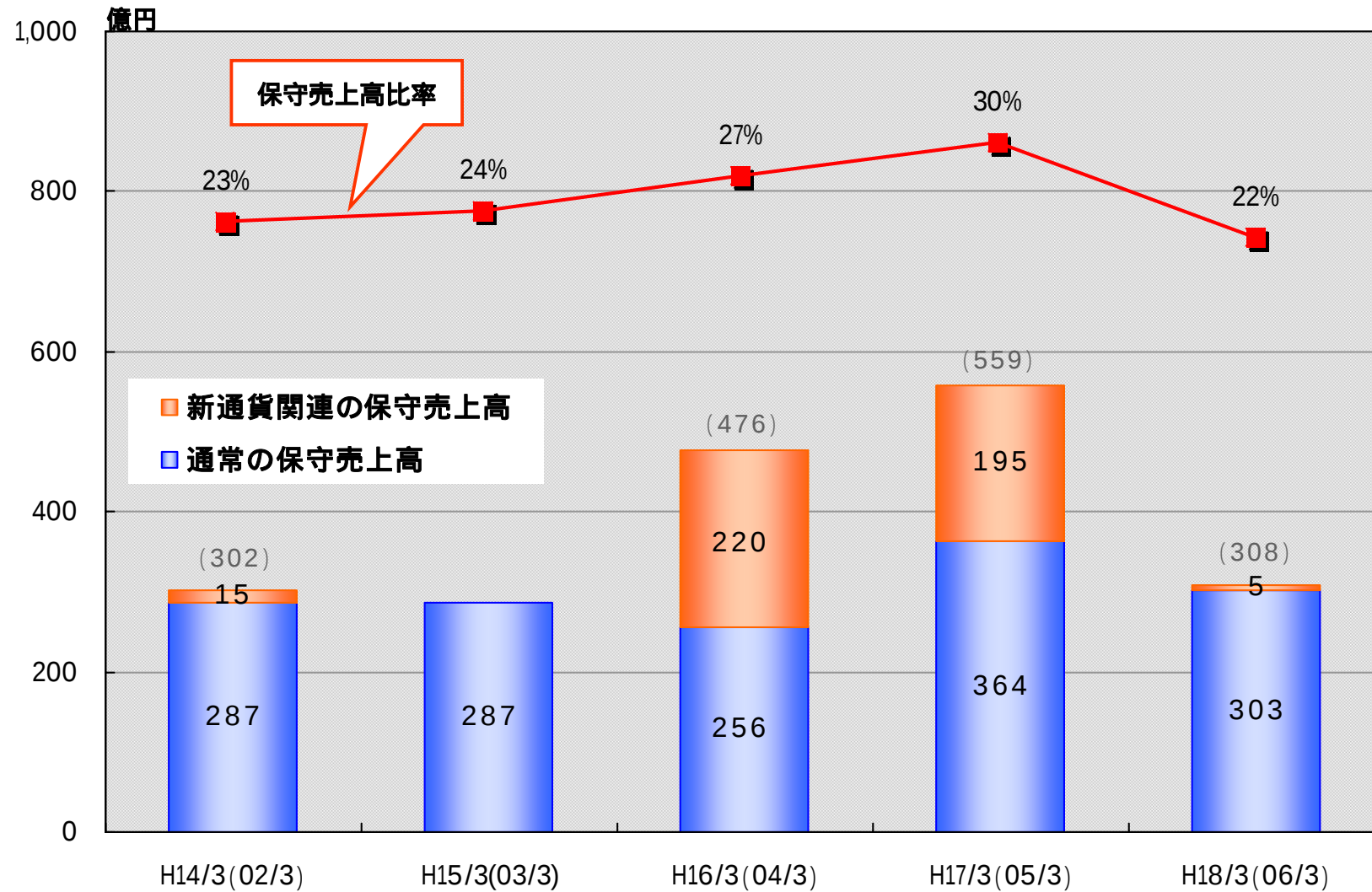
- ・病院市場
- ・カード市場
- ・官公庁市場
- ・学校市場
- ・レジャー市場
- ・ボトラー・オペレーター
- ・企業他

その他の市場 売上高(主な市場)

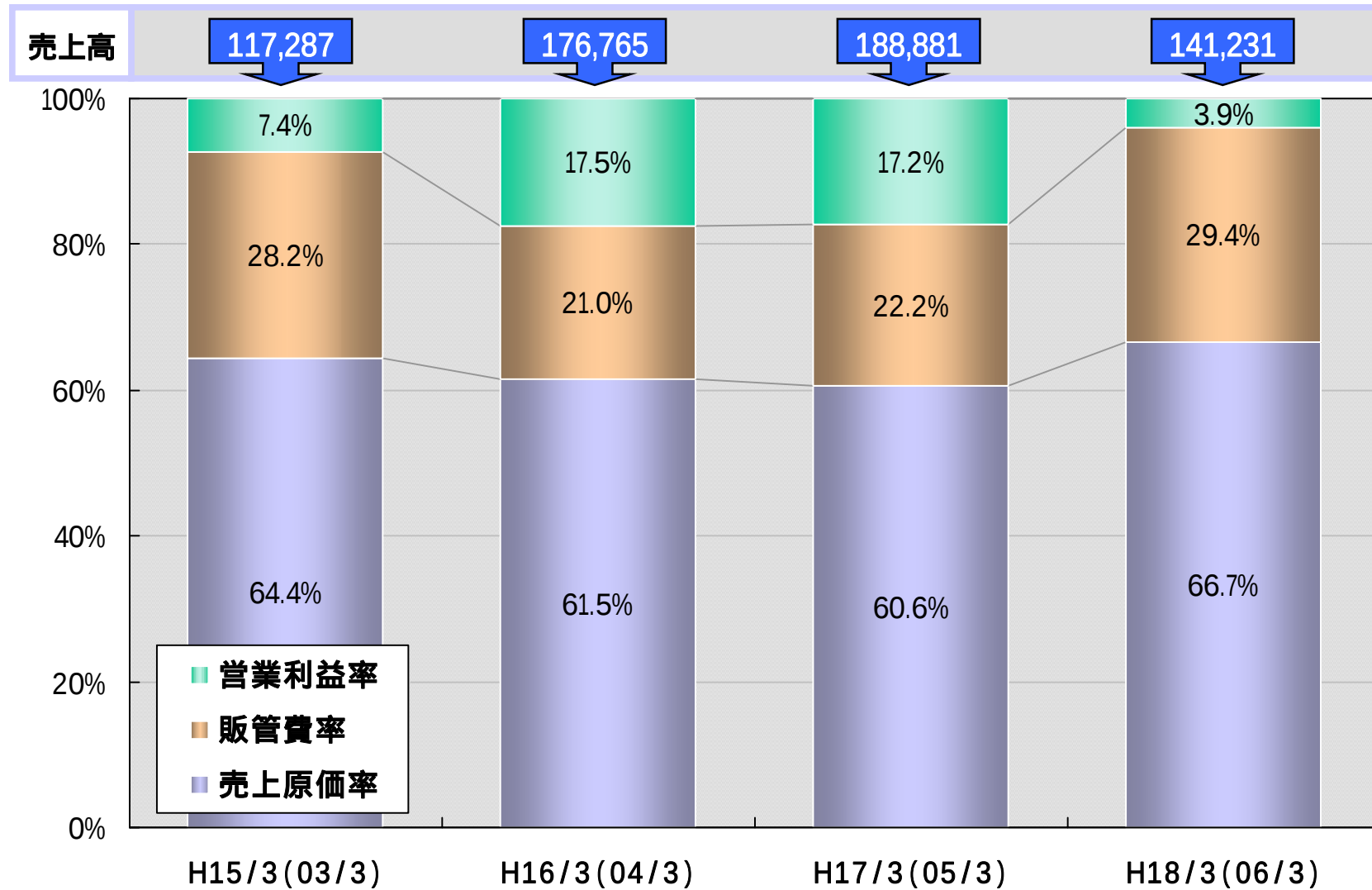
単位: 百万円



3 - 8) 保守売上高の動向



3 - 9) 売上高・売上原価率・販管費率・営業利益率



4 - 1) 連結対象企業の増加について

グローリーAZシステム株式会社	社 名	マルエスGT株式会社
兵庫県西宮市	本社所在地	大阪府寝屋川市
5千万円	資本金	1千万円
93名	従業員数	28名
各種システム製品の開発・製造  鍵管理機  金利表示ボード	業務概要	たばこオペレーター事業 ・たばこ商品の販売 ・たばこ自動販売機の設置、 管理、現金回収等
26億円	平成18年3月期 売上高	25億円

4 - 2) 連結企業 20社

国内 (14社)

グローリー工業

グローリー商事

グローリー機器

北海道グローリー

加西グローリー

グローリー・リンクス

佐用グローリー

グローリー
サービス

グローリーテック

ナスカ

グローリー
アイ・エス・ティ

マルエスGT

グローリーテクノ24

グローリー
AZシステム

海外 (6社)

Glory (U.S.A.)

Glory GmbH

Glory
Europe GmbHStandardwerk
Eugen Reis GmbHReis
Service GmbHGLORY MONEY
HANDLING
MACHINES

4 - 3) 平成19年3月期 業績予想

売上高 金融機関市場、たばこ自動販売機の需要増により、前年同期から増加。

利益 売上原価率、販管費率が改善し、利益率が向上。

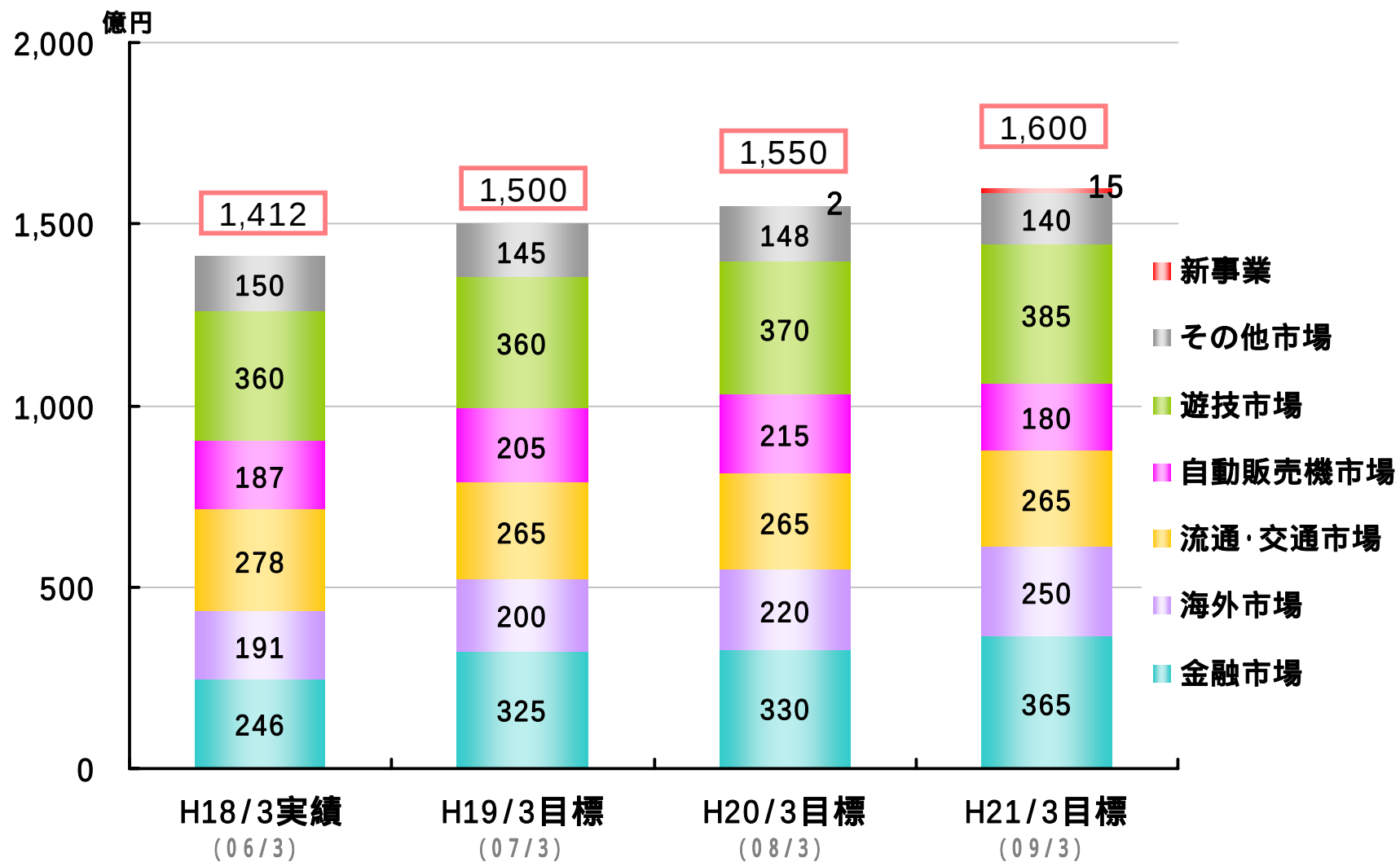
(百万円)	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期(2007年3月期)			平成18年3月10日 予想
		平成18年5月18日 予想	前年度比		
売上高	141,231	150,000	+ 6.2%		145,000
営業利益	5,453	9,000	+ 65.0%		8,000
経常利益	6,132	9,200	+ 50.0%		8,300
当期純利益	740	5,000	+575.7%		-

4 - 4) 平成19年3月期 業績予想 (市場別売上高)

(百万円)	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期(2007年3月期)			平成18年3月10日 予想
		平成18年5月18日 予想	前年度比		
金融機関	24,598	32,500	+32.1%		30,000
海 外	19,148	20,000	+ 4.4%		18,500
流通交通	27,818	26,500	4.7%		26,000
自動販売機	18,730	20,500	+ 9.5%		20,500
遊 技	35,986	36,000	+ 0.0%		37,000
その他	14,951	14,500	3.0%		13,000

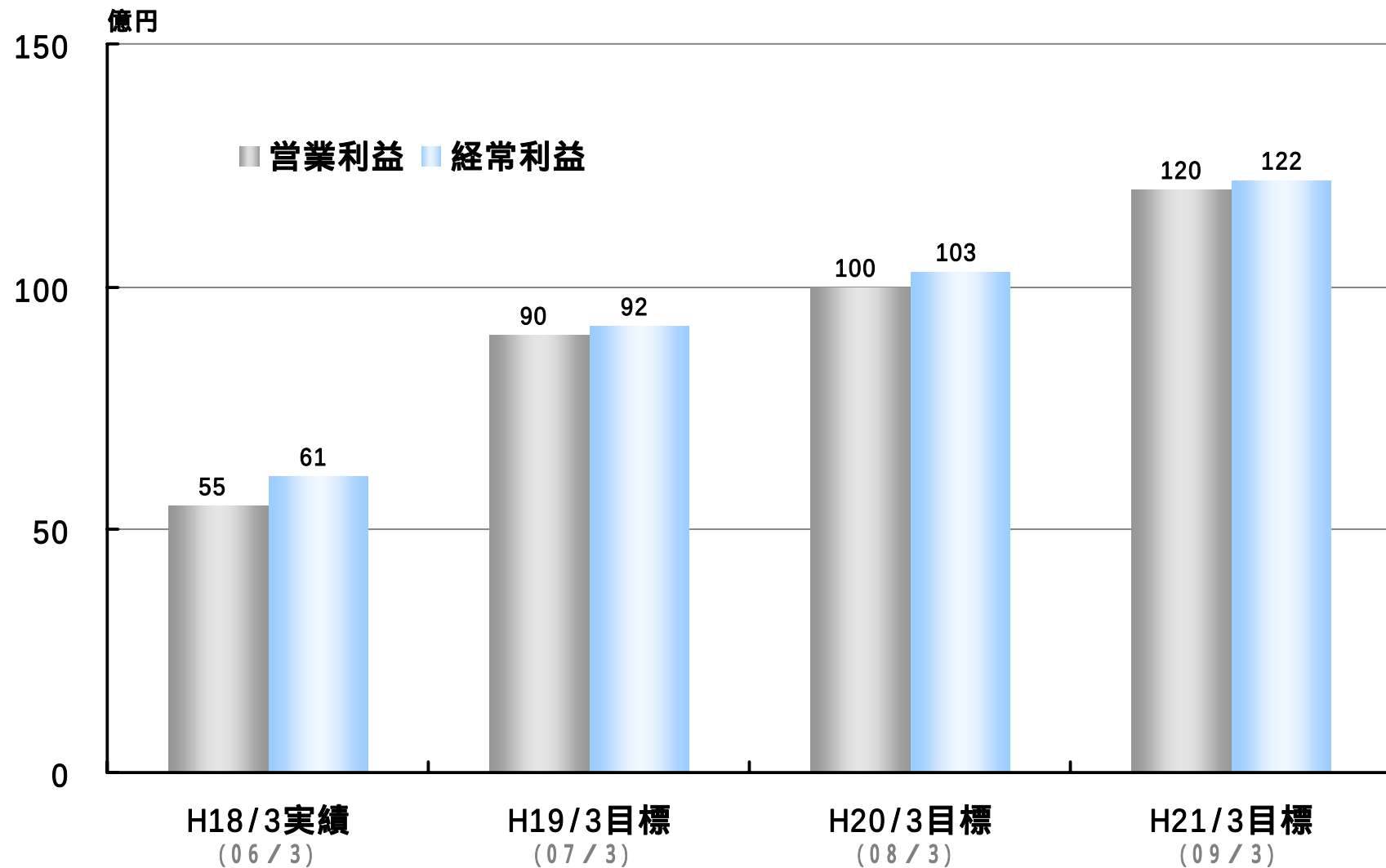


4 - 5) 中期業績目標 市場別売上高





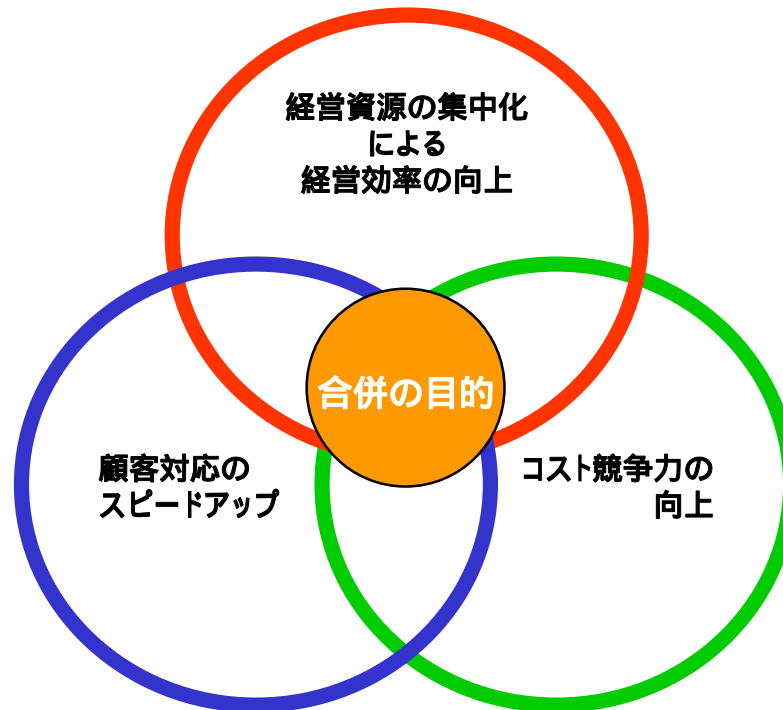
4 - 6) 中期業績目標 営業利益・経常利益



5 - 1) グローリー商事との合併について

平成18年4月28日 合併契約書調印

合併による経営効率の向上



- 製販一体による
ダイレクトマーケティング機能の実現
- 顧客対応の意思決定の迅速化を図り、
事業のスピードアップを実現
- 事業ユニット毎の採算をより明確にして
トータルコスト管理を徹底
- 共通機能の見直しによる
効率化と人材の有効活用



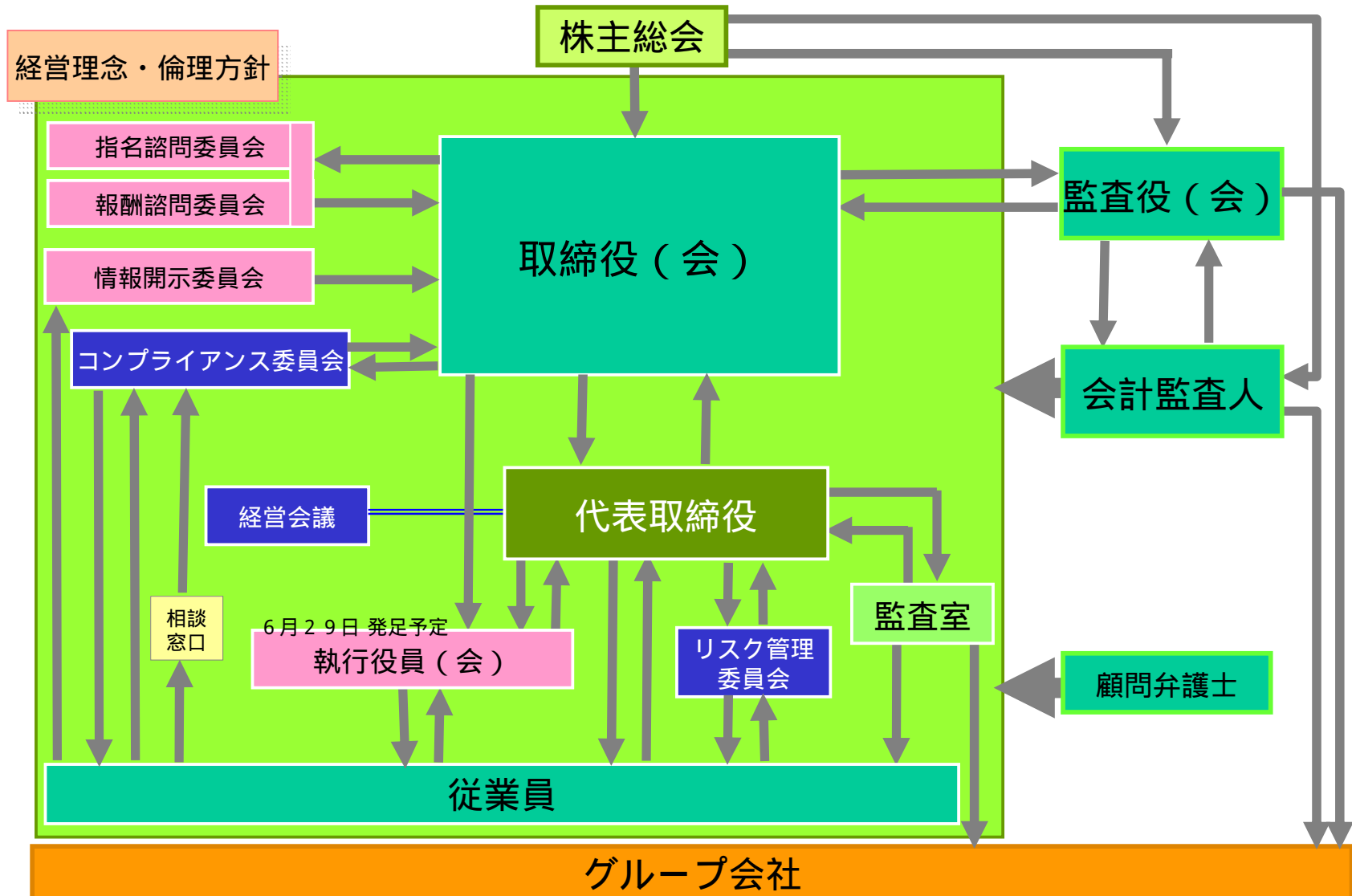
5 - 2) グローリー商事との合併について

● 単独 業績予想

平成19年3月期は、10月1日(予定)にグローリー商事を吸収合併することにより、合併差益を特別利益に220億円計上することを織り込んでいます。

	平成19年3月期 (2007年3月期)			平成20年3月期 (2008年3月期)	平成21年3月期 (2009年3月期)
	中間期	下期	通期		
売上高	40,000	70,000	110,000	129,000	133,000
営業利益	1,200	5,300	6,500	8,500	10,000
経常利益	3,000	5,000	8,000	8,700	10,100
当期純利益	2,500	24,500	27,000	5,000	-

5 - 3) コーポレートガバナンスについて



5 - 4) 利益配分について

株主資本をベースとした年間22円の配当を基準とし、
連結業績等の動向も勘案した利益還元を行ってまいります。

利益配分基本方針



平成18年3月期 配当金: 22円を予定



<http://www.glory.co.jp>